

お知らせ

高齢者向け各種予防接種

インフルエンザ予防接種

●接種期限 令和8年1月31日(土)まで

●自己負担金 1300円

コロナウイルス予防接種

●接種期限 令和8年3月31日(火)まで

●自己負担金 8千円

共通事項

●接種場所 市内の指定医療機関

※予診票を確認してください。

●接種対象者 市内に住所があり、次の①または、②に該当する人

- ①65歳以上の人
- ②60歳以上65歳未満で、心臓、腎臓、呼吸器の機能または、ヒト免疫不全ウイルスによって免疫機能に障害があり(身体障害者手帳1級に相当する程度)、接種を希望する人

※①に該当する人には、お知らせの文書と予診票を送付します。

※②に該当して、予防接種を希望する人は、各保健推進室まで問い合わせください。

●申し込み 事前に指定医療機関へ予約してください。

注意事項

□予診票を忘れずに持参してください

□市外医療機関で接種を希望する場合は、必ず接種前に各保健推進室へ相談してください

自己負担金の注意事項

□市外医療機関で接種を希望する人で保健推進室へ事前に相談をしないで接種した場合、全額自己負担となります

□市外医療機関の接種料金(自己負担)金は異なる場合があります

●市民生活部健康推進課 各保健推進室 ☎(22)0370

子どもの各種予防接種費用を全額助成

対象の予防接種

□インフルエンザ予防接種

□コロナウイルス予防接種

●接種期限 令和8年3月31日(火)まで

●接種場所 市内の指定医療機関

●接種対象者 市内に住所のある生後6カ月から中学3年生または、義務教育学校9年生までの人

●自己負担金 無料

●申し込み 事前に指定医療機関へ予約してください。

注意事項

□鼻に噴霧するタイプのインフルエンザワクチンも対象です

□マイナ保険証または資格確認書、医療受給証など、住所と年齢が確認できるものを持参してください

□市外の医療機関で接種する場合は、医療機関窓口で一度自己負担していたいただきますが、市に申請することで、後日払い戻しを受けることができます

※指定医療機関など、詳しくは市ウェブサイトを確認してください。

●市民生活部健康推進課 各保健推進室 ☎(22)0370

令和8年度各種検診申込受付を開始

生活習慣病の重症化予防、がんの早期発見・治療のため、各種検診を実施しています。

10月中旬までに令和8年度の各種検診申込書を送付します。同封の通知などを確認の上、忘れずに申し込みください。

対象

- 男性 30歳以上の人
- 女性 20歳以上の人

市立病院の病床再編

人口減少や少子高齢化に伴う患者数の減少、物価高騰、医療ニーズの変化など、医療を取り巻く環境が厳しさを増す中、病院事業の財政状況は、大変厳しい状態にあります。

このような中で、病床数の最適化を進めるため、今月から、若柳病院の地域包括ケア病棟45床を休止し、これまで休止していた栗原中央病院の一般病棟51床を稼働します。

市立病院は、地域の中核的な医療機関として、市民に安全で安心な質の高い医療を安定的に提供し、病院を維持・継続するため、さらなる経営改善に取り組んでいきます。

●市民生活部健康推進課 ☎(21)5631



▲8月に開催した市民向け説明会

市内の文化財散策

① 吉祥寺板碑群

一迫地区嶋鉢門前の長水山吉祥寺には、2つの板碑があります。板碑とは、鎌倉時代から戦国時代にかけて、亡くなった人の供養や自身の死後の冥福を祈るために造られた板状の石碑で、仏などを表す文字やお経の一部、供養の内容、年月日、供養される人や供養を行った人の名前などが刻まれています。

吉祥寺の板碑はいずれも石巻を産地とする井内石(稲井石)を加工したものです。それぞれの大きさは、1号碑と

しているものが、幅23センチメートル、厚さ7センチメートル、地上に出ている高さが67センチメートルで、2号碑としたものが、幅20・5センチメートル、厚さ5・5センチメートル、地上に出ている高さが31センチメートルです。1号碑には聖観音菩薩を表す「卍」の梵字と、南北朝時代の北朝方の年号である「貞治二年故二月三日敬白」と刻まれており、造られた時期(1363年)を示していると考えられます。



▲2号碑 ▲1号碑

2号碑には金剛界大日如来を表す「パーンク」の梵字が刻まれています。その下の部分は破損しているとみられます。年号などはありませんが、梵字の形態などから南北朝時代後半頃のものと考えられています。

●市民生活部文化財保護課 ☎(42)3515



市長随感

栗原市長 佐藤 智

郷土力士へのエール

栗原では古くから、相撲が地域に根差した伝統的な競技として親しまれてきました。大相撲で活躍する力士も多数輩出しており、栗原で育った若い力士が、全国を元気づけてくれていると思うと、大変心強く、誇らしい気持ちになります。

特に瀬峰地区出身で、大相撲幕内力士の時疾風(ときはやかぜ)の取組は、私も毎場所、目が離せません。土俵で奮闘するその姿から、日々、大きな勇気と感動をもらっています。

今年7月にリニューアルした、栗駒地区の「みちのく伝創館」敷地内にある栗原市相撲場では、8月に東北総合スポーツ大会相撲競技会が開催され、白熱の取組が繰り広げられ、多くの観客を魅了しました。



▲東北総合スポーツ大会相撲競技会

ツではなく、農作物の豊作を祈願する「神事相撲」として、古くから地域の神社で奉納されてきた歴史もあります。相撲は栗原にとってなくてはならない、地域の絆を深める重要な文化活動であり、大切に守っていききたい、地域の誇りの1つと思っています。

時疾風関に続く未来の関取が、栗原から全国の舞台で活躍できるよう、今後とも応援を続けていきます。